

第3学年 道 徳

第3学年の学習到達目標

- (1) 自分でできることは自分でやり、度を過ぎさず節度のある生活をしようとする態度を養う。
- (2) 友達を思いやり、互いに信頼して助け合おうとする心情を育てる。
- (3) 生命の尊さを知り、命あるものすべてを大切にしようとする心情を育てる。
- (4) 規則や公德を守り、みんなや社会のためになることをしようとする態度を養う。

第3学年の主な学習内容

学期	主題名	学習のねらい	資料名
前期	きまりのある生活	時間を大切にして、計画的に過ごすことによって、節度ある生活をしようとする態度を養う	あつしの計画ひょう
	困っている人のために	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする態度を養う。	ぼくたち、手つだいます
	社会のルールを守ろう	公共物や公共の場を意識しながら行動しようとする意欲を育てる。	ここは図書館です
	自然の大切さ	自然の大切さに気づき、動植物を大切にしようとする態度を育てる。	ホテルの引っこし
	自然とのつながり	自然のすばらしさや不思議さを感じ取ろうとする心情を育てる。	ケヤキのやさしさ
	励まし合う友達	友達と互いに理解し、助け合っていこうとする態度を養う。	いいち、にいいち、いいち、にいいち
	みんな、クラスの仲間	さまざまな友達との交流を通して、学校生活に親しみ、明るく楽しいクラスにしていこうとする態度を養う。	くうちゃんの絵
	計画的に行動する	自分がやるべきことは何かをよく考え、それを計画的に行い、規則正しい生活をしようとする態度を養う。	ゆうすけの朝
	よく考えて	よく考えて行動し、過ちは素直に改めようとする心情を育てる。	だれにも言えない
	人のために	働くことの大切さを知り、進んで人のために働こうとする心情を育てる。	ことぶき園に行ったよ
	過ちは素直に認め正直に	自分の過ちを素直に反省し、勇気をもって正直な行いをしようとする心情を育てる。	割れた温度計
	親切の広がり	困っている人に対し、やさしい思いやりの心で接しようとする態度を育てる。	ドミノのように
	自分らしさ	自分の良さを知り、伸ばしていこうとする心情を育てる。	じゃがいもの歌
	真心からの行い	正直に真心を持って行動し、明るく生活しようとする心情を育てる。	ぬれた本
	温かい家族	家族を敬い、家族の一員として家庭を明るくしていこうとする態度を育てる。	ぼくのおばあちゃん
自分の心への誠実	自分の心に誠実に行動し、明るく生活しようとする心情を育てる。	与作のカキの実	
後期	まわりの人たちのことを考えて	きまりを守ることの大切さをわかり、きまりやマナーを大切にしようとする態度を育てる。	どうぞと言われて
	真心を込めて	あいさつを中心とした礼儀の大切さに気づき、真心をもって接しようとする態度を養う。	あいさつをすると
	わたしたちのふるさと	地域のよさを発見し、郷土を大切にしようとする心情を育てる。	ふるさといいとこさがし
	生き物の心	自然や動植物にやさしく接し、動植物を大切にしようとする心情を育てる。	シクラメンのささやき
	みんなで守る命	生命の尊さを知り、自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。	健ちゃんをたすける
	めあてに向かって	自分でやろうと決めたことは辛抱強くやり抜こうとする心情を育てる。	一りん車にのれた
	温かな心	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。	六べえじいとちよ

ほんとうの友達	友達のことをよく考えて、友達を大切にしようとする態度を養う。	なかよしだから
ありがとうの気持ちを込めて	日ごろ自分たちの生活を支えている人々を尊敬し、感謝する心情を育てる。	ハルおばあちゃんのかつどんや
仲間を思う心	仲間を思う心の気高さに感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。	百羽のツル
くじけない心	つらいことがあってもくじけないで、やり抜こうとする心情を育てる。	まけるものか
明るい家庭	父母を敬い、家族の一員として家庭を明るく楽しくしていこうとする態度を育てる。	耳の聞こえないお母さんへ
友達のよさ	友達どうし互いに理解し、信頼し助け合おうとする態度を養う。	たまちゃん、大すき
働くことの大切さ	働くことの大切さに気づき、力を合わせ進んで人のために尽くす態度を養う。	公園ボランティア
命を大切に	命の尊さを知り、すべての命あるものを大切にする気持ちを育てる。	いただいたいのち
つながる命	生命は過去からつながっていることを知り、生命を大切にしようとする心情を育てる。	ヌチヌグスージ (いのちのまつり)
美しくやさしい心	美しく優しい心に感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。	しあわせの王子
にほんのよさ	我が国の文化や伝統のよさに気づき、国を愛し大切にしようとする心情を育てる。	ぼくのおべんとう
みんなが使う場所	進んで公德を守り、公共のものや場を大切にしようとする態度を養う。	あめだま

評価の観点・方法

- (1) 道徳の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。道徳教育における評価は、教師が児童の成長を見守りよりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きを持つものです。授業中の児童の発言、生活の様子日記、作文、プリントなどで道徳性の共感的理解に努め、その結果を授業に生かすようにしています。
- (2) 道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で多くの人々の協力を得て、いつも動的、発展的に評価します。また、全体の評価と個人評価に努めています。

特色ある学習方法

- (1) 多様で感動的な読み物、ビデオなどの視聴覚教材などを使い、どの子も発言できる話し合いを工夫します。
- (2) 児童一人一人が主体的に道徳的価値の自覚を図り、道徳的実践力を身につける時間です。そのため、教師が児童と一緒にあって、考えることができるようにという姿勢を持って臨んでいきます。

使用教材等

- 多様で感動的な読み物資料の活用
道徳副読本「道徳3 明るい心で」を主に用います。どの児童にも親しみやすく、とけ込みやすい資料です。主体的に道徳の学習ができ、道徳的実践力を育てることができるよう工夫しながら学習を進めます。

留意事項

- 保護者の方が直接語りかける体験談や願いは、児童の心に強く訴えるものです。家庭での話し合いを取り入れた学習の際には、ご協力をお願いします。